

- 1 日時 平成 年5月 日 第2時
- 2 単元名 『計算のきまり』(2時間扱い/本時は第1時)
- 3 本時の目標  
買い物ごっこの算数的活動を通して、分配法則や結合法則を確認し、それが小数まで拡張して適用できることを理解する。
- 4 本時の展開

学習の流れと予想される子どものあらわれ	留意点								
<p style="text-align: center;">「買い物ごっこ」をしよう</p> <p>予算400円で、野菜を4つずつ買います。商品は1種類とは限りません。ちょうど400円になるように上手に買い物をしましょう。</p> <p>a 400円未満で買った ... 1ポイント  b 400円ちょうどで買えた... 3ポイント  c 400円ちょうどで買えた(3種類)... 4ポイント  d 400円ちょうどで買えた(4種類)... 5ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物は3回します。</li> <li>・10ポイントを超えた人は「買い物名人」です</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">トマト ... 40円 × 4 = 160円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピーマン ... 45円 × 4 = 180円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エンドウ豆... 14円 × 4 = 56円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">160 + 180 + 56 = 396円</td> <td style="text-align: right;">合計396円 (1ポイント)</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">買い物名人になるには、どのように買ったらいいのだろう？</p> <p>2回目の買い物をする。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>分配法則 ( ± ) × = × ± ×  トマト(40円)とタマネギ(60円)の場合  40円 × 4 + 60円 × 4 = (40円 + 60円) × 4  一人100円の予算と考えれば、単価の合計が100円になることを見通せばよいことを知らせる。</p> <p>結合法則 ( + ) + = + ( + )  トマト(40円)とキュウリ(28円)とナス(32円)の場合  (40 + 28 + 32) × 4  (40 + 28) + 32 = 40 + (28 + 32)  アンダーラインの部分は左から順に計算するより、40円と60円の組み合わせを考え、たして60円になる組み合わせを探せばよいことを知らせる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">計算の順番を変えたり、数字をまとめて計算すればいいんだな</p> <p>3回目の買い物をする</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">小数の場合でも、このきまりは使えるだろうか？</p> </div>	トマト ... 40円 × 4 = 160円		ピーマン ... 45円 × 4 = 180円		エンドウ豆... 14円 × 4 = 56円		160 + 180 + 56 = 396円	合計396円 (1ポイント)	<p>系統性について  分配法則 4年下p  交換法則 3年上p25  結合法則 3年上p29</p> <p>いずれも整数であるが、交換法則、結合法則については、式の形で明示されていない</p> <p>買い物ごっこのルールを説明する。商品を物色させ、どの組み合わせで買い物をするか個人で考えさせる。</p> <p>ノート1ページに書く。</p> <p>分配法則や結合法則をうまく利用している児童を紹介する。</p> <p>試行錯誤しながら、100円 × 4の形にするにはどうするといいかを考える。</p> <p>分配法則や結合法則をうまく利用している児童を掌握する。</p> <p>計算の範囲を小数に広げて、整数と同様にこのきまりが成り立つことを確認する。</p>
トマト ... 40円 × 4 = 160円									
ピーマン ... 45円 × 4 = 180円									
エンドウ豆... 14円 × 4 = 56円									
160 + 180 + 56 = 396円	合計396円 (1ポイント)								